

平成二十五年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	日本語試験・日本文学選択

以下の文章を読んで、後の問に答えなさい。

【問題文省略】

(安富歩「論語とサイバネティックス」による)  
岩波書店『科学』2012年3月号所収 236頁

問1 下線部(ア)～(ク)のカタカナ部分、(ア)イダイ、(イ)カブソク、(ウ)イジ、(エ)コウイ、(オ)ポウトウ、(カ)タ、(キ)コウジ、(ク)ソ、を漢字に直しなさい。

問2 ①～④に以下から適する語をそれぞれ入れなさい。

しかし まさに なぜか たしかに

問3 二重下線部(1)～(3)の意味を分かりやすく説明しなさい。

「心に焼き付いていた」 「足を踏み入れて」 「まぎれもなく」

問4 下線部①について、「似ている」点を3つ、文章中の「論語」の単語3つで書きなさい。またそれぞれどのような点が似ているのか、簡単に説明しなさい。

問5 下線部②のように、中国語の古典を日本語の読み方にするを一般になんと呼んでいるか、答えなさい。

問6 下線部③について、「学習機能つきソフト」が「学習にはいって」いない理由を書きなさい。

問7 下線部④について、「偶然だろう、と思い込んでいた」のはなぜか、説明しなさい。

問8 下線部⑤について、中国に長期滞在した「ウィーナー」にはどういうことが生じたと考えられるか、想像して書きなさい。

問9 文章の主旨を二〇〇字以内でまとめなさい(句読点を含む)。解答のあとに( )内に字数を書いておいてください。

問10 波線部(A)～(C)「これ」が指しているのはなにか、それぞれ答えなさい。

【なお解答にあたっては、解答用紙に問の番号や問題記号を明記し、どの問題に対する解答か、はっきりわかるようにして書きなさい】

以上